

2005年4月28日

東京ガス株式会社 2004年度決算説明会 主なQ&A

Q：

役員報酬制度の改革について発表されたが、今回役員の退職慰労金を廃止することにしたのはなぜか？

A：

コーポレートガバナンス改革については、これまでも取締役人数の削減や、社外取締役の招聘、役員の任期を1年とするなど一連の改革を行ってきた。退職慰労金については業績との関連が明確で無いなど、株主・投資家の皆さまからのご指摘も高まっており、一連の報酬見直しの中で廃止することにした。

Q：

中期経営計画「フロンティア 2007」の達成の見通しがつき、環境の変化を踏まえた新しい中期経営計画を策定されるということだが、策定にあたってのポイントとなる議論は何か？

A：

次期中期経営計画については、現時点で詳細なコメントは出来ないが、ポイントはキャッシュフローをどこにどう重点的に使って、次の東京ガスの発展につなげるかということ。お客さまとのつながりを大切にして、持続的成長をベースに考えていきたいと思っている。その上で、既存事業に対する戦略的な投資、本業に近い分野での新規事業、財務体質の強化や配当・自社株取得を含めた株主への利益配分などについて議論していきたい。